

令和7年度事業報告

公益目的事業の実施状況(概 要)

令和7年度は、高齢者の就業機会の確保と適正な就業環境の整備を図るため、特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律（以下「フリーランス法」という。）への対応をはじめ、会員の確保及び就業機会の提供の充実並びに安全・適正就業の推進等、各種事業を総合的に実施してまいりました。

（契約関係の見直し）

フリーランス法への対応として、請負事業において発注者、センター及び会員の三者間による包括的契約へと、契約関係の見直しを行いました。

（会員の拡充・確保）

シルバー事業の持続的な運営を支える会員の確保を図るため、市と連携し、防災行政無線や市広報紙等を活用した入会説明会及び各種講習会の周知を行うとともに、マスメディアを活用し、シルバー人材センター事業の認知度向上に努め、市民を対象とした各種講習会の開催など普及啓発活動を推進してまいりました。

（請負事業・準委任事業）

請負事業の実績については、受注件数は3,780件（前年度比459件減）、会員業務委託料は113,253千円（前年度比0.6%増）となり、受注件数は減少したものの、会員業務委託料は前年度を上回りました。その要因としては、配分金の改定による影響が挙げられます。減少の主な要因としては、空き家の増加等に伴う樹木伐採需要の変化に加え、民間家庭及び企業における防草シートの設置等、除草対策の進展によるものと考えられます。

（派遣事業）

派遣事業については、派遣契約数154件、派遣賃金総額32,383千円（前年度比約1.9%増）と、前年度を上回る実績となりました。

（安全・適正就業）

安全・適正就業の推進については、剪定及び除草作業において傷害事故及び賠償事故が発生したことから、刈払機及び剪定作業に係る講習会を開催し、安全意識の向上を図ってまいりました。あわせて、刈払機の安全使用や脚立作業時の転落防止等の事故防止対策に関する注意喚起、事故事例の共有、安全・適正就業に関する情報提供を定期的の実施し、会員が安心・安全に就業できる環境の整備に努めてまいりました。

1 事業実績

(1) 請負事業・準委任事業全体

（各年3月31日現在）

項 目	令和7年度	令和6年度	増減	対前年度増減率
受注件数	3,780 件	4,239 件	△459 件	△10.8%
会員業務委託料	113,253,951 円	112,611,436 円	642,515 円	0.6%
就業延人員	23,212 人	25,494 人	△2,282 人	△9.0%
就業実人員	210 人	210 人	±0	±0.0%
就業率	73.4%	76.9%	———	△3.5%

(2)会員の入退会状況(令和7年度3月末時点)

(単位：人)

年 度	年度当初会員数	入会者数	退会者数	年度末会員数	増減
令和7年度	273	46	33	286	13
令和6年度	281	22	30	273	△8

(参考：地区別会員数)

常陸太田地区 165人 金砂郷地区 57人 水府地区 32人 里美地区 32人

(3)職群別事業実績(請負事業、準委任事業)

職 群	受注件数(件数)	就業延人員(人)	受注額(円)	比率
技術群(PC 講座指導等)	46	127	633,490	0.5%
対前年度増減	39	29	119,108	
技能群(植木剪定、襖・障子・網戸、大工等)	1,321	6,023	36,756,932	27.6%
対前年度増減	△216	△826	△4,113,402	
事務群(広報紙仕分け、筆耕等)	28	421	2,444,685	1.8%
対前年度増減	2	4	177,075	
管理群(スポーツ施設管理等)	69	1,156	6,709,890	5.0%
対前年度増減	△1	△48	630,049	
一般作業群(草刈り、草取り、屋内外清掃等)	1,998	14,354	83,840,748	62.9%
対前年度増減	△224	△942	4,245,873	
サービス群(動物死体回収)	316	932	2,748,623	2.1%
対前年度増減	△57	△316	△490,730	
その他(手工芸、農産物生産・販売)	2	199	123,278	0.1%
対前年度増減	△2	△183	△72,808	
計	3,780	23,212	133,257,646	100%
対前年度増減	△459	△2,282	495,165	

(考察)

技能群の減少については、主に剪定作業において、水府地区で従事していた会員が就業できなくなり、同地区での対応が困難となったことにより、太田地区、金砂郷地区及び里美地区の会員で補完を図っているものの、一部の発注者が他の業者へ移行したことも影響し、全体の受注減少につながったものと考えられる。また、空き家の増加に伴い管理が行き届かない樹木が増え、近年、剪定から伐採作業への需要の移行が見られたことも、剪定作業件数の減少の一因である。

一般作業群については、特に除草作業において、民間企業や個人宅において、防草シートの設置や除草剤の活用などの対策が進んでいることから、これまでは年複数回の定期的な除草作業の減少が見られる。

一方で、受注額は、配分金の改定による作業単価の上昇や、官公庁との契約金額の見直しにより増加している。このため、件数や就業延人員は減少しているものの、全体として受注額の増加につながったものと考えられる。

(4)発注者別実績(請負事業、準委任事業)

発注者	受注件数(件)	就業延人数(人日)	受注額(円)	比率
地方公共団体	860	9,634	58,865,872	44.2%
対前年度増減	△95	△699	3,387,281	
民間事業所	199	1,520	9,638,023	7.3%
対前年度増減	△29	△129	△375,772	
一般家庭	2,719	11,859	64,630,473	48.4%
対前年度増減	△333	△1,271	△2,443,536	
独自事業	2	199	123,278	0.1%
対前年度増減	△2	△183	△72,808	
計	3,780	23,212	133,257,646	100%
対前年度増減	△459	△2,282	495,165	

(5)地区別実績(請負事業、準委任事業)

地区	受注件数(件)	就業延人員(人日)	受注額(円)
太田	2,640	17,780	100,583,284
金砂郷	445	2,585	15,678,649
水府	254	754	4,684,563
里美	441	2,093	12,311,150
計	3,780	23,212	133,257,646

(6)派遣事業実績

区分	派遣登録者数(人)	派遣契約数(件)	就業延日数(人日)	派遣賃金総額(円)
令和7年度	90	154	6,267	32,383,798
令和6年度	87	153	6,437	31,780,001
比較増減	3	1	△170	603,797

※派遣賃金には、交通費が含まれています。

(7)安全就業パトロール実施状況

ヘルメット、フェイスガード及び防護メガネの着用並びに飛散防止ネットの活用を重点項目としたパトロールを実施。あわせて、熱中症対策として作業時間の短縮（午前中での作業完了）の推奨を行ったほか、蜂刺され対策としてポイズンリムーバーを配布した。

また、安全確保のため、カラーコーン及び剪定・除草作業中の看板を配布し、適切な設置の徹底を図った。

草刈り時の飛び石による賠償事故及び剪定作業時の転落による傷害事故が発生していることから、安全パトロールを強化し、作業前ミーティングでの現場確認や危険予知、保護具の適正使用を徹底し、事故防止に努めていく。

- ・パトロール実施件数：延べ33件・延べ33現場（本所・3支所計）
- ・主な作業内容：草刈り・草引き・剪定作業等

(8)事故発生状況

・傷害事故・・・ 2件（除草1件・剪定1件：保険適用2件）

1. 除草作業中による蜂刺され1件（通院日数：1日）
2. 剪定作業中の転落による背骨及び肋骨骨折1件（通院日数：5日）

・賠償事故・・・ 11件（除草7件・剪定1件：保険適用8件）

1. 刈払機の撥石による車両フロントガラス破損1件 保険適用賠償額 116,380円
2. 刈払機作業中に電源ケーブル切断1件 保険適用賠償額 4,290円
3. 刈払機の撥石による車両フロントフェンダー傷1件 保険適用賠償額 274,543円
4. 刈払機の撥石による会員の車両リアガラス破損1件 保険適用賠償額 19,800円
5. 刈払機の撥石による会員の車両リアガラス破損1件 保険適用賠償額 49,060円
6. 刈払機の撥石による個人宅のガラス破損1件 保険適用賠償額 6,000円
7. 刈払機の撥石による個人宅の網戸・ガラス破損1件 保険適用賠償額 66,121円
8. 剪定作業中に梯子を移動した際、苗木及びソーラー発電機の破損1件
保険適用賠償額 6,082円
9. 軽トラック後退時の接触による木製柵（園芸用）2本の破損1件
10. 半ガラス障子の張替え作業中にカッターを落としガラス破損1件
11. 剪定作業時に予定範囲を超えて短く剪定したことによる樹木損傷1件

【参考】

年 度	発生件数		
	傷害事故	賠償事故	計
令和5年度	6件	7件	13件
令和6年度	4件	11件	15件
令和7年度	2件	11件	13件

・労働災害事故（派遣事業）・・・ 1件（労災認定）

1. 伐採作業補助中に斜面に転倒し鎖骨骨折 休業19日

(9)運営体制充実のための取組

当センターにおいては、法人運営の透明性及び公正性の確保並びにガバナンスの強化を図るための公益法人法の改正（令和7年4月1日施行）に伴い、外部役員を配置。

外部監事については、税務、会計及び法務に関する専門的知見を有する者を選任。

外部理事については、企業経営等に関する専門的知識及び経験を有する者を選任。

外部理事及び外部監事に対しては、毎月、事業の実施状況や収支の状況、理事の活動内容などについて情報提供を実施。

また、新公益法人会計基準（令和6年12月20改正、令和7年4月1日施行）に伴い、財務規程の見直しを行うとともに、関連する事務規程及び決裁規程との整合性について検証を行い、物品の取得・管理に係る手続の明確化を図るため、関係規程の一部改正を実施し、当該改正については理事会の承認を得た。

以上により、理事及び監事によるチェック体制の強化を図り、適正な業務執行を確保。

2 会議等の開催状況

会議の名称	開催日	議 事	備 考
定時総会	R7. 6. 12	・令和7年度事業計画 ・令和7年度収支予算 ・令和6年度事業報告 ・令和6年度収支決算(案) ・令和7年・8年度期理事及び監事の選任(案)	常陸太田市民交流センター 多目的ホール
理 事 会	R7. 5. 08 6. 26 9. 29 R8. 3. 19	R7. 5. 08 ・正会員の報告 ・表彰規程の適用 ・令和6年度事業報告(案) ・令和6年度収支決算(案) ・令和7年・8年度期役員候補者の選任 6. 26 ・定時総会の日時：場所等 ・正会員の報告 ・理事長、副理事長及び常務理事の選定 9. 29 ・専門部会の編成(案) ・正会員の報告 ・配分金単価の改定 ・職員の継続雇用に関する要項の一部改正改正及び嘱託職員取扱規程の一部改正 R8. 3. 19 ・上半期運営状況 ・シルバー人材センター事業普及啓発促進月間の取り組み ・正会員の報告 ・令和7年度補正予算(案) ・令和8年度事業計画(案) ・令和8年度収支予算(案) ・財務規程の一部改正 ・決裁規程の一部改正 ・事務規程の一部改正 ・D&O(役員賠償責任)保険	当センター会議室
監 事 会	R7. 5. 1	・令和6年度決算監査	当センター会議室
広報部会	R7. 8. 08 12. 15	・シルバーひたちおた第10号の編集・発行 ・シルバー会報第31号の編集・発行	当センター会議室
安全委員会	R7. 10. 30	・安全就業取組状況 ・就業現場の安全対策等の視察結果 ・傷害事故・損害賠償事故状況及び分析	当センター会議室
衛生委員会	毎月第3月曜	・衛生管理計画(案) ・派遣事業状況報告 ・その他派遣労働者衛生管理に関する事項	当センター会議室

3 関係機関との会議、研修等参加状況

年 月 日	会 議 等	備 考
R7. 4. 15	国庫補助金・公益法人制度担当者研修会	県総合福祉会館
5. 12	県北ブロック通常総会	水戸市 S.C
6. 18	県連合会定時総会	県総合福祉会館
7. 04	安全就業推進大会	〃
7. 15	第1回事務局長会議	〃
12. 03	理事長及び役職員の研修会	〃
R8. 2. 04	県北ブロック協議会研修会	水戸市内原市民センター
2. 24	派遣元責任者及び実務担当者研修会	県総合福祉会館
3. 05	派遣事業の年次有給休暇に係る検討会議	茨城県開発公社ビル
3. 10	安全就業対策講習会	県総合福祉会館

4 その他

年 月 日	行 事 等	備 考
R7. 4. 01	令和7年度辞令交付式	当センター会議室
6. 18	刈払機適正使用講習会	交流センターふじ
7. 01	安全・適正就業強化月間	管内全域
10. 01	普及啓発強化月間	管内全域
10. 10	入会説明会（7名参加）	当センター会議室
12. 12	入会説明会（6名参加）	〃
1. 29	植木剪定講習会（18名参加）	旧幸久小学校
2. 04	障子・網戸張替え体験会（20名参加）	当センター作業場
2. 13	入会説明会（14名参加）	当センター会議室
毎月第3日曜	常陸太田朝市出店	市役所駐車場
毎月上旬	職員会議(連絡・打合せ等)	シルバー事務所